



睡眠時無呼吸症候群

の診療を開始しました！

睡眠時無呼吸症候群とは？

睡眠時無呼吸症候群は、睡眠中に呼吸が止まった状態（無呼吸）や止まりかける状態（低呼吸）が何度も繰り返される病気です。その結果、睡眠が妨げられて日中の眠気やだるさ、朝起きた時の頭痛などの症状がでます。それだけではなく、呼吸が止まっている時間が長いと、睡眠中の体内酸素量が足りなくなるストレスで、高血圧・心筋梗塞・脳卒中などの循環器系疾患や、糖尿病・肥満・高脂血症などのメタボリックシンドロームを高率に合併することや、交通事故を起こすリスクが、一般の方に比べて高いことが明らかになってきています。

検査方法と治療方法

当院では、睡眠時無呼吸症候群の原因や重症度を調べるため、ご自宅で一晩装置をつけて検査をする簡易検査、1泊入院でいろいろな検査器具を体にとりつけて眠り、呼吸状態や睡眠状態を調べる精密検査（終夜睡眠ポリソムノグラフィ検査）を行い重症度と自覚症状に応じて、治療方法を考えていきます。

治療方法には生活習慣の是正、経鼻的持続陽圧呼吸療法装置（CPAP）、手術などがあります。

CPAP 療法とは

CPAP 療法は睡眠時無呼吸症候群に対してとても有効で一般的な治療法です。日本では 20 万人以上の方が行っており年間 1～2 万人以上の方が新たに治療を始めています。CPAP 療法は睡眠時に常に気道に陽圧をかけることで、睡眠中の気道の閉塞を防止し、無呼吸を改善させます。

治療には CPAP 装置と専用のマスクを使用します。



【治療例】

ご受診のご案内

日中の眠気やだるさ、いびきや起床時の頭痛がある方は、お気軽に呼吸器内科外来を受診してください。

11 月の時点では、金曜日午前中の外来が比較のご案内しやすくなっております。

近隣の医療機関からの紹介状、当院かかりつけの方は担当医からのご依頼があるとスムーズです。

【初診受付】午前 8：45～11：00

呼吸器内科外来診療表(平成 28 年 11 月現在)

	月	火	水	木	金
午前				砂田 幸一	濱中 伸介
午後	高橋 実希		清水 邦彦		